

ありがとうファンド(愛称ファンドの宝石箱)
追加型投信 / 内外 / 資産複合 / ファンド・オブ・ファンズ
分配金再投資専用

ありがとう投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)
第304号 (社)投資信託協会会員



変わらぬ安心感をお客様に

皆様のありがとうファンドが満5歳となったこの9月に、前社長村山の健康上の理由から、私が後任として社長を引き継ぐことになりました。

会社を創立した5年前から、私たちの目的はただ一つ「長期投資でお客様の資産形成のお手伝いをする」ことです。直販というお客様と同じ方向のベクトルをもつ仕組みをとっていることの意味、設立発起人たちの「お金を通じて社会に貢献する」という思い、これらは既に私にもたっぴりと沁みこんでいますし、今後も私と社員一同でしっかりと守り続けます。

「ありがとうファンドをもっていて良かった。ありがとう!」

いつの日か、資産形成の目的を達したお客様方にこう言っていただけることを目標に、より一層精進してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、今回の社長交代につきましては、先月の公表の後、一部のお客様から「大丈夫?」「会社が変わってしまうのでは?」といったご心配もいただきましたが、もちろん「大丈夫!」です。

会社の変化につきましては、村山が社長を続けていたとしても変わる部分、変えなければいけない部分、こういったところはもちろん変わります。

しかし、今回の引継ぎは「お客様に一切ご迷惑をおかけしない」ことを何よりも重視しています。特に運用に関しては、今までの村山・岡・川元という三人体制をそのまま継続し、毎週の運用会議には今後も全員が顔を揃えて議論を重ねてまいりますし、その意味では「全く変わりません!」のでどうぞご安心ください。

代表取締役 岡 大

ありがとうファンドも設定から5年を経てファンドとしての形がすっかり整いました。

ありがとう投信の体制も岡新社長の下きっちり出来ています。

私も今後は裏方でファンドの運用をお手伝いしてまいります。今後ともありがとうファンドをよろしくお願いいたします。

エグゼクティブアドバイザー 村山 甲三郎

わたしたちが責任をもって運用します！
 ありがとうファンド ファンドマネージャーのご紹介



村山 甲三郎 エグゼクティブアドバイザー

経歴

1952年 東京生まれ

一橋大学経済学部卒業、同学社会学部卒業
 三井銀行(現三井住友銀行)
 米国コーネル大学経営学修士修得
 ゴールドマン・サックス証券日本法人 外国債券営業部長
 ストロング・キャピタル・マネジメント・インターナショナル社 在日代表
 CIBC ウッドガンディー証券 営業本部長

2004年ありがとう投信株式会社設立に参加

【人生とは...】 「一期一会」
 【お客様へひとこと】 投資は日々の生活の中にあります。やはり積み重ねが大事です。



岡 大 代表取締役 CIO(最高投資責任者)

経歴

1964年 東京生まれ

大阪府立大学工学部船舶工学科卒業
 山一証券株式会社 阿倍野支店、人材開発部ファンドマネージャーコース、シンジケート部
 さわかみ投資顧問株式会社(さわかみ投信株式会社) アナリスト・ファンドマネージャー
 一橋大学法科大学院修了

2008年ありがとう投信株式会社入社

【座右の銘】 「無碍」・・・何事にもとらわれず、こだわらず、自在な発想と行動を、常に心がけたいと思っています。
 【お客様へひとこと】 お客様に『安心』をお届けできるように、そしてお客様から「ありがとう」の言葉をいただけるように、精一杯の努力を積み重ねてまいります。



川元 由喜子 投信企画運用部 ファンドマネージャー

経歴

1962年 東京生まれ

東京大学経済学部卒業
 日興証券、日興証券投資信託委託、日興インターナショナル(NY)
 HSBC投信投資顧問 日本株運用部長

2009年ありがとう投信株式会社入社

【好きな一言】 A peacefulness follows any decision, even a wrong one. (出典は不明)
 決断する時に背中を押してくれる一言。決断の後は良き戒めとして。
 【お客様へひとこと】 私も一人の個人投資家。個人にとって良い資産運用とは何か、個人投資家に必要なものは何か、そんなことをいつも考えています。

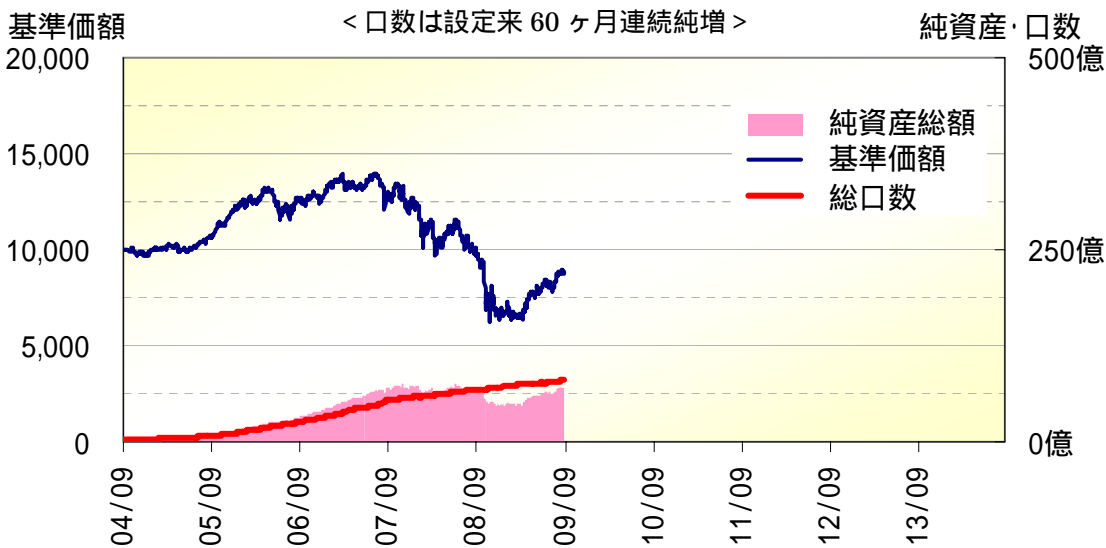
基準日 / 2009年8月31日

基準価額 8,878円
純資産総額 70億75百万円
受益権総口数 79億69百万口
年率複利 () -2.35%

期間別騰落率				
1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
+3.3%	+33.8%	9.9%	29.1%	11.2%

「年率複利」とは、設定から現在まで運用を行った結果を、複利で換算した場合に何%でまわっていたかで表したものです。過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、また個々のお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。

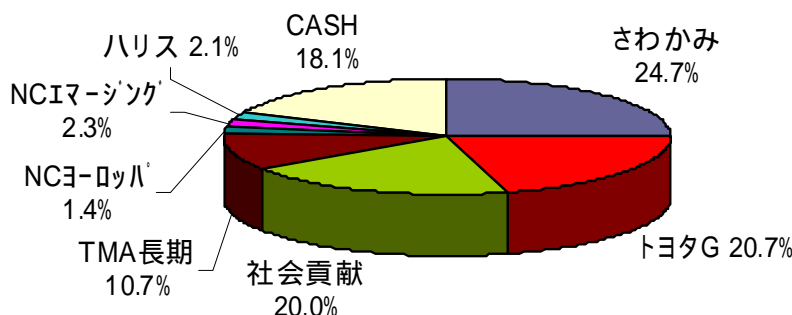
基準価額・純資産総額の推移



皆様のありがとうファンドの基準価額は、月間で1.2%上昇しました(8月3日～9月1日)。同じ時期の市場の値動きは、TOPIX(東証株価指数)が+1.6%、MSCI*のWI(先進国指数)が+4.1%、同じくEM(新興国指数)が0.4%、円/ドル為替は1.7%の円高となっています。

*MSCI : モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル。世界で広く使われている株価指数を算出している会社です。騰落率はドルベースのnet指数で計算しています。

組入れファンドの比率 <8月末現在>



8月の相場は、月末にかけてジリ高から年初来の高値を更新しましたが、1ヶ月を通して小動きに終始しほぼもみ合いとなりました。

ありがとうファンドでは、引き続き、下落に備えながら上昇にもついていけるような構えを心がけ、厚めの

キャッシュポジションを保ちました。中でも、トヨタグループ株式ファンドについては、その一部を売却しており、結果として8月末現在の組入れファンドの比率は上図のようになっています。

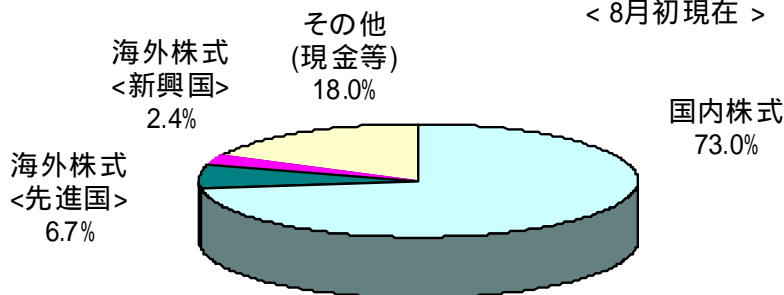
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

トヨタグループ株式ファンドは、ありがとうファンドの設定時に、組入れファンドがさわかみファンドとの2本しかなかったときからの組入れファンドです。トヨタグループ自体の成長性・安定性に対する投資という意味合いと、世界展開している優秀な企業グループに投資することで国際分散投資に準じた投資効果を狙うという意味合いなどがありました。トヨタグループ株式ファンドの内の、約半分がトヨタ自動車株になっています。

トヨタ自動車は日本を代表する銘柄であるため、ありがとうファンドに組入れている他の複数のファンドにおいても投資されており、結果として、直近でもありがとうファンド全体の十数%がトヨタ自動車一社の株式に投資される形になっていました。

自動車業界は、内燃機関(ガソリン)からモーター(電気)への移行という大きな変革期を迎えています。業界全体としてみた場合にこれが衰退産業であるとは私たちは考えていません。しかし、組入れファンドが7本に殖えていることなど、ありがとうファンドの現在の諸般の事情を鑑みたときに、余りにも一社に偏りすぎ

ありがとうファンド全体(各ファンドの合計)の資産配分状況



ているポジションはリスクが高く、お客様に長期投資による資産形成手段を提供するファンドとしては相応しくない可能性があるとの判断にいたりました。

ありがとうファンド全体の資産配分は8月初めでは左図のようになっていました。

これまでにもレポートでご報告してきたとおり、ありがとうファンドでは現在は日本株が投資対象の中心です。しかし、将来的には新興国市場を中心とする海外株のウェイトを上げて日本株のウェイトを約6割程度まで下げる、ということを基本的な方針として考えています。したがって、今すぐというわけではありませんが、個別銘柄でみたトヨタ自動車株への配分比率がおおむね10%を下回るくらいまでは、状況を見ながら8月と同様のポジション調整を継続していくことも視野に入れていきます。

さて、ここからの市場環境については、来年以降の景気見通しに関する意見が二つに割れていることなどから、各種指標や企業業績が発表されるたびに市場参加者が右往左往し、上下に大きく振れやすい展開となる可能性が高いと私たちは考えています。したがって、当面は引き続き厚めのキャッシュポジションを維持しながら(場合によっては、もう一段厚くすることも検討。)、短期指向の投資家のバタバタには巻き込まれないことに主眼をおいてまいります。

したがって、トヨタグループ株式ファンド以外のファンドにつきましても、もしも一段の急上昇があれば一部を売却してウェイトを減らすことも柔軟に検討していきます。とはいえ、私たち自身が『バタバタ』になっては意味がありませんから、長期投資の視点をぶらすことは決してありません。

CIO(最高投資責任者)

岡 大

グラフはすべて組入れ時を 100 として指数化し、期間をありがとうファンド設定来で統一して表示しています。

さわかみファンド



株式組入上位10銘柄

	銘柄	コード	業種	組入比率
1	商船三井	9104	海運業	3.93%
2	花王	4452	化学	3.11%
3	ブリヂストン	5108	ゴム製品	3.03%
4	コマツ	6301	機械	2.75%
5	パナソニック	6752	電気機器	2.70%
6	SUMCO	3436	金属製品	2.49%
7	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	2.33%
8	信越化学工業	4063	化学	2.18%
9	セブン&アイ・ホールディングス	3382	小売業	2.01%
10	デンソー	6902	輸送用機器	1.84%

上記比率は、純資産総額に対する比率です。

トヨタグループ株式ファンドF (適格機関投資家専用私募)



マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	コード	業種	保有比率
1	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	50.38%
2	デンソー	6902	輸送用機器	16.35%
3	豊田自動織機	6201	輸送用機器	5.59%
4	アイシン精機	7259	輸送用機器	4.70%
5	豊田通商	8015	卸売業	3.66%
6	ダイハツ工業	7262	輸送用機器	2.79%
7	ジェイテクト	6473	機械	2.64%
8	豊田合成	7282	輸送用機器	2.39%
9	あいおい損害保険	8761	保険業	2.38%
10	トヨタ紡織	3116	輸送用機器	2.11%

個別銘柄の保有比率は、現物株式の組み入れ = 100% とした各銘柄の比率です。

社会貢献ファンド (適格機関投資家専用)



マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	コード	業種	構成比率
1	伊藤園	2593	食料品	3.4%
2	堀場製作所	6856	電気機器	3.4%
3	クラレ	3405	化学	3.0%
4	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	3.0%
5	リコー	7752	電気機器	2.9%
6	高砂熱学工業	1969	建設業	2.9%
7	キャノン	7751	電気機器	2.8%
8	ダイセキ	9793	サービス業	2.8%
9	KOA	6999	電気機器	2.7%
10	ホンダ	7267	輸送用機器	2.7%

構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

TMA長期投資ファンド (適格機関投資家限定)



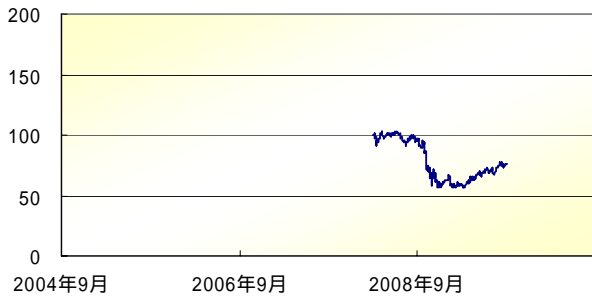
マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	国	業種	比率
1	信越化学工業	日本	基礎素材	3.9%
2	キーエンス	日本	産業用エレクトロニクス	3.7%
3	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	3.5%
4	BERKSHIRE HATHAWAY INC.-CL A	アメリカ	保険	3.5%
5	花王	日本	家庭用品	3.3%
6	テルモ	日本	医薬品・ヘルスケア	3.2%
7	トヨタ自動車	日本	自動車	2.8%
8	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬・バイオ・ライフ	2.6%
9	BARRICK GOLD CORP	カナダ	素材	2.5%
10	PETROLEO BRASILEIRO S.A.-ADR	アメリカ	エネルギー	2.3%

比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド S A (適格機関投資家限定)



騰落率	1ヶ月	6ヶ月	1年	組入来
	0.6%	26.4%	-21.8%	-24.4%

マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	国	MSCI業種分類	比率
1	DANONE	フランス	生活必需品	8.0%
2	ROCHE HOLDING AG	スイス	ヘルスケア	8.0%
3	SYNTHES INC	スイス	ヘルスケア	7.0%
4	CAPITA GROUP PLC	イギリス	資本財・サービス	6.7%
5	RECKITT BENCKISER	イギリス	生活必需品	6.7%
6	ESSILOR INTL	フランス	ヘルスケア	4.2%
7	SODEXO	フランス	一般消費財・サービス	4.2%
8	HENNES & MAURITZ AB	スウェーデン	一般消費財・サービス	4.1%
9	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	3.8%
10	HEINEKEN NV	オランダ	生活必需品	3.5%

比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド S A (適格機関投資家限定)



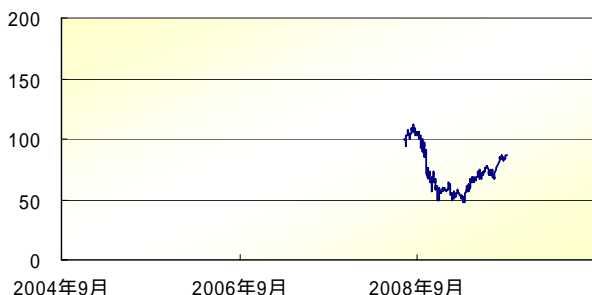
騰落率	1ヶ月	6ヶ月	1年	組入来
	-0.1%	57.4%	-12.0%	-12.6%

マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	国	MSCI業種分類	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-ADR	台湾	情報技術	5.3%
2	MTN GROUP LTD	南アフリカ	電気通信サービス	4.1%
3	JBS SA	ブラジル	生活必需品	4.1%
4	MOBILE TELESYSTEMS	ロシア	電気通信サービス	3.3%
5	ANGLOGOLD ASHANTI LTD	南アフリカ	素材	3.2%
6	GAFISA SA	ブラジル	一般消費財・サービス	3.1%
7	EMPRESAS COPEC SA	チリ	資本財・サービス	2.9%
8	GOLD FIELDS LTD	南アフリカ	素材	2.9%
9	GRUPO TELEV-ADR	メキシコ	一般消費財・サービス	2.9%
10	COCA-COLA ICECEK URETIM	トルコ	生活必需品	2.9%

比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007 (適格機関投資家専用)



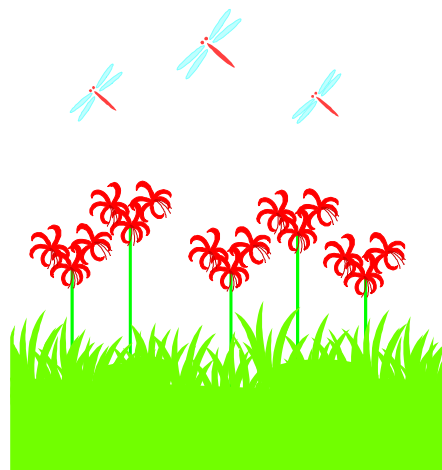
騰落率	1ヶ月	6ヶ月	1年	組入来
	5.4%	59.5%	-19.1%	-14.1%

マザーファンド株式組入上位10銘柄

(組入れ銘柄は2009/7/31現在)

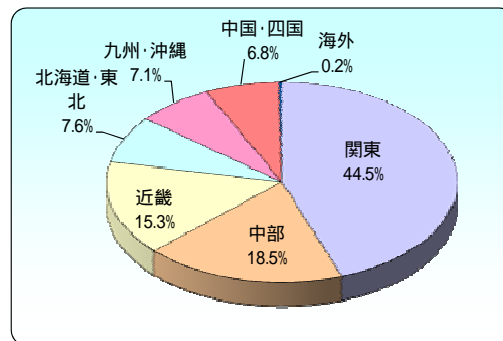
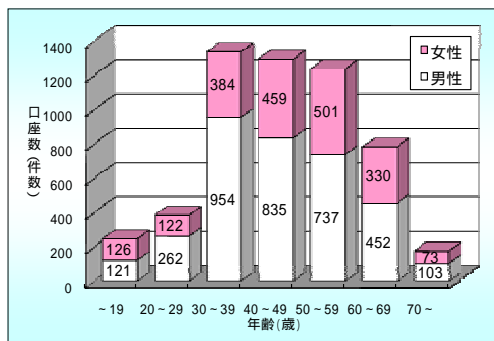
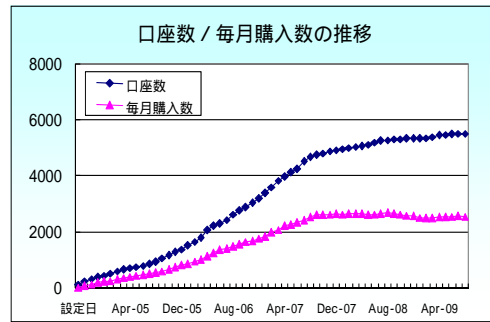
	銘柄	国	業種	構成比率
1	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	7.0%
2	JULIUS BAER HOLDING AG-REG	スイス	各種金融	4.8%
3	HEWLETT PACKARD CO	アメリカ	テクノロジー・ハード機器	4.3%
4	FRANKLIN RESOURCES INC	アメリカ	各種金融	4.0%
5	CATERPILLAR INC	アメリカ	資本財	3.9%
6	CIE FINANCIERE RICHEMON-BR A	スイス	耐久消費財・アパレル	3.8%
7	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	アメリカ	各種金融	3.5%
8	CARNIVAL CORP	アメリカ	消費者サービス	3.3%
9	DAIMLER AG-REG	ドイツ	自動車・自動車部品	3.2%
10	ADECCO SA-REG	スイス	商業・専門サービス	3.2%

構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。



口座数の推移と年齢・地域分布

顧客数	前月比
5,499名	+8名
個人比率	毎月購入比率
99.3%	46.1%



ありがとうメッセージ

「ファンド第5期決算を迎えました！」

おかげさまで、ありがとうファンドは8月末で第5期決算を迎えました。この5年間は、2005年の前回の衆議院選挙後から始まる株価急上昇とアメリカのサブプライムローン問題による株価暴落があり、大きな上げと下げを経験しました。なお、第5期運用報告書は現在作成中で、今月末までに発送するスケジュールで準備をしております。

また、新たな試みとして10月にファンド保有者を中心としたホルダーズミーティング（お客様総会）を3都市で開催する予定です。是非ご参加頂ければと思います。（詳細は39レポートに掲載しておりますのでご確認下さい）

ありがとう投信 カスタマーサービス部

毎月購入サービスのスケジュール

今後の毎月購入サービスになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取り扱いとなりますので予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

	新規申込・口座変更	金額変更・中止	引落日	ファンド購入日 (約定日)
平成21年10月分	受付終了	9月24日(木)	10月6日(火)	10月19日(月)
平成21年11月分	10月5日(月)	10月26日(月)	11月6日(金)	11月18日(水)

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

デリバティブのプロが教える 金融基礎力養成講座



経済を動かす4つのキーファクター

著：田淵 直也 / 出版社:日本実業出版社

実体経済、金融市場、新金融技術、リスク管理の4つの要素が、いかに相互に影響を及ぼしながら、ダイナミックに変動しているかを理解することができる。

著者はデリバティブのプロだけあって、基本事項の説明も論理的かつ具体的であるので説得力が違う。最新の金融技術や今回の金融危機についての解説も図解されておりとてもわかりやすい。将来何が起こるかは誰にもわからないが、本書で解説している内容は、今後どのような変化が起きても役立つ本質的なフレームワークと言えるだろう。是非ご一読をおすすめします。

(ありがとう投信 長谷俊介)

『ありがとうファンド』の概要

商品分類	追加型投信 / 内外 / 資産複合 / ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	無期限
決算と収益分配	毎年8月31日(休業日の場合は翌営業日)
お申込単位	1,000円以上1円単位
お申込価額	取得申込受付日の翌々営業日の基準価額
ご解約単位	1円以上1円単位
ご解約価額	解約請求受付日の翌々営業日の基準価額
委託会社 (販売会社)	ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号(社)投資信託協会会員
受託会社	日興シティ信託銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第25号(社)日本証券業協会会員

『ありがとうファンド』にかかるリスク

主なリスク 「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「ビジネスリスク」、「為替リスク」、「カントリーリスク」、「ファンド資産の流出によるリスク」

当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。

『ありがとうファンド』にかかる手数料等

お申込手数料	手数料はありません。
ご換金(ご解約)手数料	手数料はありません。
信託財産留保額	信託財産留保額はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年0.945%(税抜0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年1.6%±0.3%(概算)] 当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他の費用等	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。